

# 「日本は世界の楽園である。」

日増しに深刻さを増す環境問題は、

私たち一人ひとりの

いのちとまごころに関わっている

非常に身近な問題です。

このコーナーでは、

環境破壊の現状や原因、

今後の対策などをあらゆる角度から

考えていきたいと思います。

特定非営利活動法人AMDA (アマダ)

理事長 **菅波 茂** (すがなみしげる)



1946年12月29日 広島県深安郡生まれ  
現職 医療法人アスカ会及び  
社会福祉法人遊々会理事長 内科医

<略歴>

1976年9月	岡山大学医学部大学院卒業(公衆衛生)
1977年4月	岡山大学医学部第一内科入局
1977年11月~81年3月	心臓病センター併原病院勤務
1981年5月	菅波内科医院開業 (98年4月アスカ国際クリニックに名称変更)
1984年	AMDA(アジア医師連絡協議会)を設立
1990年6月	老人保健施設「すこやか苑」開設
1991年	AMDA国際医療情報センター設立
1992年9月	「一宮在宅介護支援センター」開設
1993年1月	「アスカ訪問看護ステーション」開設
1998年12月	ケアハウス「茶山亭」開設

<教職>

1983年4月~1986年3月	岡山県立短期大学非常勤講師
1992年1月~現在に至る	岡山医療技術短期大学非常勤講師
1994年4月~2000年3月	東京大学大学院非常勤講師
1995年3月~現在に至る	南京中医药大学客員教授
1995年4月~現在に至る	大阪大学非常勤講師
1997年4月~現在に至る	岡山県立大学大学院非常勤講師
1998年4月~現在に至る	京都大学医学部非常勤講師
1999年4月~現在に至る	岡山大学法学部大学院非常勤講師
2000年10月~現在に至る	長崎大学熱帯医学研究所熱帯医学研修課程 運営委員

2001年4月~現在に至る

岡山大学歯学部非常勤講師、  
香川医科大学非常勤講師

<AMDA表彰>

1993年7月	外務大臣表彰
1994年3月	大山健康財団大山激励賞受賞
1994年7月	第一生命保健文化賞
1995年8月	第28回岡山県三本記念賞受賞
1995年9月	第2回国連ブドロス・ガーリ賞受賞
1995年10月	第25回毎日新聞社会福祉顕彰受賞/ 第7回毎日国際交流賞受賞
1996年1月	第54回山陽新聞社賞受賞
1996年8月	厚生大臣表彰
1996年10月	第9回ソフト化特別賞受賞

<著書>

1993年	遙なる夢
1995年	ボランティアの時代(共著)
1995年	とび出せ!AMDA(編著)
1995年	阪神大震災と市民ボランティア(共著)
1996年	AMDAの提言(著)
1998年	はばだけ!NGO/NPO(共著) その他、論文多数

AMDAは岡山に本部を置き世界三〇ヶ国に支部がある国連NGOです。一九八四年に発足してから主として緊急人道援助活動や貧困対策のプロジェクトを世界中で実施しています。様々な国や場所を経験しましたが、左記の理由により「日本は世界の楽園である」というのが私の結論です。

1) 緑と水に恵まれた四季  
2) 相互扶助の精神

二十一世紀の世界は水の配分をめぐって紛争が多発するといわれています。作物を作るためには水は不可欠です。緑は水の保水の原点です。世界の砂漠化の進行が紛争の多発の原因となっています。一方、日本で

問題になっているのは川下では多数の都市住民が豊かな水の恩恵を受けていますが、川上の自治体では水を保水している山々が人手不足のため荒れてきているという事実です。このことは高齢少子化によりますます顕著になっています。

阪神大震災の時に「ボランティア元年」といわれるように百万人からの若い人達が全国から神戸に支援にかけつけました。行動原則は「困った時はおたがいさま」の相互扶助精神でした。問題点がはつきりすれば国民が動くという新しい潮流ができました。この力を社会の活性化に役立つようにNPO(非営利特定活動法人)の法的制度

も充実してきています。福祉NPOや環境NPOが続々と誕生しています。

最近、「豊かな水の確保」のために川下の都市と川上の自治体が「緑と水を保全する協定」を結んでいる新聞記事をよく見るようになりました。「緑と水に恵まれた四季」と「相互扶助精神」の組み合わせが期待できるのは日本だけです。

AMDAは世界に向かって人道援助の活動を展開していますが、その現実的根拠は本部のある岡山そして日本がすばらしい国であることです。これはAMDAの永遠の願いです。